

# 2020年度 ケーブルテレビ放送番組審議会 (栃木チャンネル) 議事録

## 1. 概要

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書類による審議

審議資料を郵送し回答を求め、審議委員総数 10 名うち 9 件の回答がありました。

## 2. 審議委員（敬称略）

|         |     |                  |
|---------|-----|------------------|
| 大 川 秀 子 | 会 長 | （栃木市長）           |
| 膝 附 武 男 | 副会長 | （栃木商工会議所副会頭）     |
| 阿 部 勝 彦 | 委 員 | （大平町商工会会長）       |
| 伊 藤 邦 夫 | 委 員 | （藤岡町商工会会長）       |
| 三 室 一 男 | 委 員 | （都賀町商工会会長）       |
| 山 岸 弘 幸 | 委 員 | （西方商工会会長）        |
| 安 藤 芳 雄 | 委 員 | （岩舟町商工会会長）       |
| 渡 辺 真   | 委 員 | （栃木警察署長）         |
| 小 島 徹   | 委 員 | （栃木市消防本部消防長）     |
| 柳 田 和 子 | 委 員 | （栃木市女性団体連絡協議会会長） |

## 3. 報告事項

### 【全体】

- （1） 新委員の委嘱に関する報告
- （2） 放送エリア及び加入状況に関する報告
- （3） ケーブルテレビの取り組みに関する報告（2020 年度）
- （4） 昨年の審議会での指摘・進捗状況報告

### 【コミュニティチャンネル関連】

- （1） 2020 年度栃木チャンネルに関する報告
- （2） 主なレギュラー番組に関する報告（2020 年実績）
- （3） 特別番組に関する報告

#### 4. 議事

##### (1) 事前に視聴した番組に関する意見・質問

###### 【対象となる番組】

〈防 災〉 あれから 1 年 (2020 年 10 月 20 日放送)

安全安心だより (毎月 2 回更新)

〈企 画〉 新生栃木市 10 周年記念特別番組

「とちぎの人形山車～とちぎ秋まつりを伝承するために～」

(2020 年 11 月 14 日放送)

〈コロナ関連〉「新型コロナウイルス感染症、私たちはどう対応していくか」

(2020 年 5 月 30 日放送)

###### 質問・回答

###### ■あれから 1 年 (2020 年 10 月 20 日放送)

【委 員】 市民が早めに行動できるような情報提供の必要性を感じた。市民の意識の向上につながったと思う。

【委 員】 正確な認識とそれに対して取り組むべき対策が伝わっている

【委 員】 被災者ならではの感想・意見があり良かった。宇都宮地方気象台の職員、栃木市の担当者からの情報発信も参考になった。

【委 員】 過去の教訓から未来に備える観点で具体的な取り組み・改善が見えた。大切なのはそれぞれの意識をいかに持ち続けるかだと思う。

【委 員】 対策の進捗が安心安全につながる。さらに今後の推移として出してもらえるとありがたい。

【委 員】 繰り返し放映をして意識付けしていくことが大切だと思う。対策の進捗情報も欲しい。

【委 員】 宇都宮地方気象台の職員の話は末尾ではなく、水害のインタビューのあとにするなど、編集の仕方でインパクトが強くなるのではないかな。

【CATV】 台風の対策についてもニュース等でお伝えし、今後も防災意識の向上につながる番組制作に力を入れて参ります。

■安心安全だより

【委員】トラッキング火災の予防の大切さが市民の皆様に伝わったと思う。

(同様意見多数)

【CATV】今後も栃木警察署様・栃木市消防本部様と協力しながら、身近な安全安心に関する情報をお伝えしてまいります。

■とちぎの人形山車〜とちぎ秋まつりを伝承するために〜(2020年11月14日放送)

【委員】まつりは延期になって残念ではあるが、秋まつりが持つ本来の意義が市民に伝わったと思う。

【委員】まつりのルーツを知ることができて良かった。

【委員】伝承のために若い世代をいかに盛り上げるかがポイントになる。

【委員】郷土愛と町の活性化へとつなげる趣旨と歴史の中で課題が見えて良かった。

【委員】地域文化の伝承には、子どもたちに見てもらえる工夫が必要

【委員】山車の準備の裏側が良く分かった。未来につなげていくことの大切さを強く感じた。

【委員】実行委員のみなさんの祭りに対する熱い思いが伝わった。

【CATV】今後のとちぎ秋まつりでも生中継など力を入れ、栃木市の地域文化伝承の一助を担っていけるよう努めて参ります。

■新型コロナウイルス感染症、私たちはどう対応していくか(2020年5月30日放送)

【委員】専門家からの説明により、新型コロナウイルス感染症の知識を得ることができ、予防対策につながったのではないかと感じる。

【委員】説明が丁寧でわかりやすかった

【委員】専門家が実例を交えて説明してくれるので参考になる。

【CATV】現在、毎日の感染者情報をお伝えするほか、定時のニュース番組およびデータ放送などを通して情報をお伝えしてまいります。

## (2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

【委員】コロナ禍で多くのイベントが中止になり、話題が少ない中でも市民のニーズに即した新番組を制作することで、栃木市的话题を提供してくれた。これからも安全安心や市民生活の充実につながる情報を流すとともに、栃木市の魅力を市外にアピールできるように協力をお願いしたい。

【CATV】全国のCATVのネットワークを活用して、栃木市の魅力を発信できるよう努めてまいります。

【委員】広告やCMとは別にBtoCやBtoBのツールになること、行政と相互利用できるものに力を入れると視聴者の幅が広がると思う。

【委員】ローカル5Gにどのように取り組みされるかを知りたい。何らかの機会を作って教えていただきたい。

【CATV】ローカル5Gに関しては、総務省・栃木市などと協力して、河川に設置したライブカメラの映像を送信し、AIを活用して水位を予測するなど、防災に役立つ研究を進めています。

【委員】飲食店の応援PR放送に感謝している。今後も有意義な放送を期待する。

【委員】「気ままにじもとあるき」が普段気づかない景色が見られて良かった。

【委員】平日4時からの生放送は、NHKほかの報道番組に比べてリアルタイム感がない。地域の身近なニュースとして、20分の前半10分程度は、事件・事故・災害等の情報を発信してほしい。

【CATV】事件・事故に関する情報は、限られた地域での放送であり、プライバシーを守るなどの観点から現在放送は見合わせております。災害に関する情報については引き続き力を入れて参ります。

【委員】「おおきくなったら」は、まちづくりや教育のあり方に役に立つと思う。  
小学生（5～6年生）の夢はどうなっているのか見えると良い。

【CATV】今後の番組制作に生かせるよう検討して参ります。

【委員】災害や感染症対策などは、外国人にも分かりやすくするため、英語等のテロップを入れてみてはどうか？

【CATV】災害情報は速報性を重視して、まずは日本語での表示を優先させています。今後、自動翻訳などの技術を見ながら情勢に適した放送を研究いたします。

【委員】視聴者の方はどういう情報が知りたいのかアンケートなどを利用して、番組制作に役立ててほしい。

【CATV】従来、お客様からのアンケートを実施し、番組へのご意見やご要望を頂戴しています。これらを丁寧に集計・分析し、番組制作に生かして参ります。

【委員】新番組「八百万の神」が興味深い。地域の歴史を詳しく知りたいと思う。

【CATV】ケーブルテレビでは地元密着のメディアとして地域の皆様の声に耳を傾けながら、必要とされている情報を発信していけるよう引き続き努力して参ります。  
コミュニティチャンネルや各種サービスに関してお気付きの点がございましたら遠慮なくご指摘ください。今後も、放送・通信サービスを通じて安心して豊かな社会づくりに貢献して参ります。

以上